8/27 赤旗

「戦争法案を必ず廃案にしよう」と野党議員とともにコールする人たち＝26日、参院議員面会所前

法案反対「心に響く」

東京・大集会 参加者、決意口々に

戦争法案に反対して、雨の中、学者、法曹家、市民ら4000人を超える人々が集まった26日の東京・日比谷野外音楽堂での大集会。参加者らは、法案を廃案に追い込む決意を口々に語りました。

大学1年の伊藤慎（まこと）さん(19)＝東京都福生市＝は、「戦争できる国にするということがいやだ。法案をつぶしたいから参加しました。大学で周りの学生の中には、政治の話はしないみたいな空気があるけど、そういうところから変えていきたい。次は誰かと一緒に参加したいです」と話しました。

弁護士の根岸小百合さん(35)＝群馬県高崎市＝は、「法案は立憲主義に真っ向から反し、あってはならないこと。発言者のみなさんの真剣な言葉が心に響きました。私も弁護士会の集会、街宣などに引き続き参加したいと思います」と語りました。

全国厚生連労働組合連合会の書記を務める加藤ふみさん(23)＝東京都葛飾区＝は、「今日の集会には元内閣法制局長官や創価大学の教員の方まで出席していて、法案への反対がとても広がっていてすごいと思いました。若い人の中でも広がっていますが、私の周りにはまだ問題を知らない人が多いので、知ってもらいたいです」と話しました。